



HIJIORI
Light
project

第13回 灯籠絵展示会

ひじおりの灯



新作出品

桶本理麗

草彌裕

渋谷七奈

田中望

中須賀愛美

福田美里

古田和子

増子博子

吉田勝信

13年目も、あかりを灯して待ってます。

2019.7.26(金)→9.16(月・祝)

山形県最上郡大蔵村 肘折温泉

ARTIST TALK 肘折絵語り・夜語り 8月17日(土)19:30~21:00 旧肘折郵便局舎前

新作灯籠の展示は8月10日から つたや金兵衛本館湯治部屋での展示は8月10日~25日 hijiorinohi.com

主催:ひじおりの灯実行委員会 共催:大蔵村、肘折地区、肘折温泉旅館組合、肘折温泉商店組合 協力:東北芸術工科大学



山形県
肘折温泉

※屋外で点灯する灯籠については、雨天・強風時には点灯しない場合がございます。

お出かけ前に当日の点灯情報を「twitter」の「ひじおりの灯」で確認ください。

[twitter](https://twitter.com/hijiorinohi) @hijiorinohi

霊峰月山の麓、かつての火山噴火によって生まれたカルデラの底で、今も昔も変わらず湯をたたえ人々を迎える湯治場・肘折温泉。開湯1200年の夏からはじまった灯籠絵展示会「ひじおりの灯」では、毎年雪解けの季節に山形に縁ある若手作家らが温泉街で滞在制作を行い、周辺に広がる豊かな大地や生命力あふれる動植物、山岳信仰に同地の歴史、湯とともに生きる人々の暮らしなど、湯治場に息づくさまざまな情景を描き出し、八角の灯籠に仕立てています。この夏も9名の若手作家による新作を含む灯籠絵を、肩を寄せ合うように並ぶ旅館や商店の軒先に、また湯治部屋を会場に、表情豊かに灯します。湯に人に、いくつものいのち行き交う湯治場の夜をぐるり巡って、肘折の〈絵物語〉をお楽しみください。

灯籠制作=竹内昌義(設計)、柿崎建具店(組子)、
斎藤高子(表装)、下山普行(金物)、三浦一之(紙漉き)、TIMBER COURT(什器)
企画サポート=鈴木淑子(ひじおり編集部)

ARTIST TALK 肘折絵語り・夜語り

8.17(土) 19:30~21:00
旧肘折郵便局舎前

新作灯籠作家によるトークイベント。
一つひとつ異なる肘折温泉の絵物語を、
作家の解説つきでお楽しみください。
[参加無料/申込不要]



アクセス

バス：JR新庄駅より「肘折温泉行き」で約50分。
お車：新庄市から国道47号、国道458号で約40分。
山形市から国道13号、県道31号、県道330号、国道458号で約100分。
宿泊のご案内 宿泊希望の方は、肘折温泉ウェブサイト(hijiori.jp)をご利用ください。
お問い合わせ ひじおりの灯実行委員会(早坂隆一)
tel=090-2076-5698 email=hijiorinohi@hijiori.jp
肘折温泉観光案内所 tel=0233-76-2211



twitter @hijiorinohi
Facebook www.facebook.com/hijiorinohi
ひじおり旅の手帖 hijiori.jp/tabii

